



さいたま新都心。

昔、ここには国鉄の操車場があった。  
びっしりと線路が敷き詰められ  
貨物を運ぶ列車が全国から集まっては出ていく。  
そんな場所だった。

今では、買い物や食事コンサートにと、  
人が集まるまちに生まれ変わった。

このまちの風景は  
時代とともに変わりつづける。

今は違うものがあるけれど  
今は知る人が少なくなったけれど  
確かにそこにあった風景。

その一つ一つが積み重なって  
今のさいたま市をかたちづけている。

その場所の記憶をひも解いてみよう。

